



臨床研究に関する情報の公開

作成日: 2025/08/09

研究課題名	機械学習を用いた腹膜透析継続可能期間予測モデルの開発
研究の対象	2001 年 4 月 1 日から 2025 年 7 月 31 日にとうかで腹膜透析を導入された方
研究目的・方法	腹膜透析 (Peritoneal dialysis, PD) は、血液透析と並ぶ末期腎不全患者に対する主要な腎代替療法の一つですが、本邦において PD を選択している末期腎不全患者はおよそ 3% と非常に低い水準にあります。その原因のひとつとして、繰り返し腹膜透析を行うことによって腹膜機能が想定よりも早期に劣化し継続が困難になることが挙げられます。しかし、現状では腹膜機能の評価は PD 導入後にしか行うことができず、もともとの腹膜機能を PD 導入前に調べることは困難です。本研究では、腹膜透析導入前の患者データ (血液・尿生化学的検査、放射線検査、生理検査等) を用いて機械学習技術を活用した予後予測モデルを構築し、個別化医療の実現と治療戦略の最適化に資する臨床支援ツールの開発を目的としています。 研究期間: 許可日 ~ 2027 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	血液・尿生化学的検査: 総蛋白、アルブミン、血中尿素窒素、尿酸、クレアチニン、尿中蛋白、尿中クレアチニン等 放射線検査: 心胸郭比等 生理学的検査: 心機能、ABI 等 患者基本情報: 年齢、性別等 診断・治療情報: 腹膜透析実施期間、内服薬、血圧等
外部への試料・情報の提供	通常診療における診療情報から下記の情報について抽出します。 データセンターは田附興風会医学研究所北野病院とし、データを収集します。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。研究に使用するデータは各施設において個人が特定できない形式に変換された後にデータセンターに提供され、当センターの研究責任者が保管・管理します。
研究組織	主機関: 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院腎臓内科/第 3 研究部 石村拓也 既存試料・情報の提供のみを行う機関 京都大学医学部附属病院 腎臓内科 外部研究員 石村 拓也
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話: 06-6312-1221、FAX: 06-6312-8867 腎臓内科 副部長 石村拓也 (研究責任者、研究代表者)